

企業・自治体と連携した データサイエンスの実践的教育

京都女子大学

データサイエンス学部

学部長

栗原 考次



本日の内容

1. はじめに
2. 京都女子大学データサイエンス学部
3. 京都女子大学データサイエンス研究所
4. 自治体・企業との連携による実践的教育
5. 最後に

本日の内容

1. はじめに
2. 京都女子大学データサイエンス学部
3. 京都女子大学データサイエンス研究所
4. 自治体・企業との連携による実践的教育
5. 最後に



大谷 籌子
Kazuko Otani

甲斐和里子
Wariko Kai

九條武子
Takeko Kujiyo

明治期、学園創始に
尽力した3名の女性

1920年
日本初の女子高等専門学校として
開設



京都女子大学

第二次グランドビジョン（2020年～2029年）

第二次 グランドビジョン 2020-2029

01

ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を養成します。

02

教育、研究の両面において、SDGsの達成に貢献します。

03

多様な学生が集まり、多様な価値の中で、生涯学び続けることのできる大学を目指します。

04

世界の大学と連携して、人類に資する研究を推進します。

05

時代の変化に合わせて新たな価値を創造する大学を目指します。

2020年
京都女子高等専門学校設立
100年

京都女子大学 学部・学科紹介

文学部

国文学科

POINT

- 教員免許取得者35人(卒業生の約30%)が在籍!
※2024年3月卒業生
- 「面白い!」と思ったことを自分でとことん追求し、研究する楽しさを実感
- 1回生から4回生までのすべてに少人数の演習授業を配した充実のカリキュラム
- 13名にも及ぶ多形で実務した教員上、豊富で豊富な実習資料が学力にサポート
- 京都の中でも特に優れた文化的環境が、他ではできない深い学びをもたらす
- 文学や言葉を見つめることによって、何をするにも不可欠な豊かな人間性を培う
- 高度の調査分析能力や発信力を身につけて各分野で活躍するOGとの交流も

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(国語)
- 高等学校教諭一級免許状(国語)
- 准教諭学芸員 ■ 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 学校教育 ■ 金融 ■ 情報通信
- 電気・機械 ■ 流通 ■ 不動産 など

学びのキーワード

賞讃/文学/歴史/伝統/文化/
多文化共生・異文化理解/舞台表現

p41

英語文化 コミュニケーション学科

POINT

- 国際人として活躍するための実践的な英語力を培う
- 近隣の国際的なホテルでのインターンシップを通してホスピタリティとワーリズムを体験学習
- CAやグラウンドスタッフをめざす人々のための大手航空会社と連携したエアライン関連の授業
- 映画や演劇・音楽作品の分析を通じて英語表現を修得し歴史や文化を学ぶ
- マンガやコミックスの研究を通して英語の表現方法や内容との関係性を学習する
- 英語圏の文化や文学を学び教養を身につける
- 専攻専修の指導も行き届いた充実の留学制度
- 英語教員免許が取得できる充実のカリキュラム
- 教員免許取得者11人(教員経験率34.0%)
※2024年3月卒業生

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(英語)
- 高等学校教諭一級免許状(英語)
- 学校図書司書教諭 ■ 図書館司書
- 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 旅行 ■ 翻訳・翻訳 ■ 航空 ■ メディア ■ 金融
- 国際ビジネス ■ 情報通信 ■ 学校教育 など

学びのキーワード

賞讃/国際関係/通訳/翻訳/ジャンル/
多文化共生・異文化理解/舞台表現

p47

史学科

POINT

- 入学後日本史・東洋史・西洋史の中からコースを選択
- 幅広い時代・地域・分野に対応した豊富な科目群
- 京都の歴史遺産に囲まれて学ぶフィールドワークを展開
- さまざまな歴史を学び異文化交流の力を養う
- 史料読解を通して徹頭まで根拠に基づき判断を下す能力を養う
- 博物館学芸員の資格取得者48人(卒業生の約40%)
※2024年3月卒業生
- デジタル資料・アーカイブズの利用を通して先駆的な歴史情報にふれる

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(社会)
- 高等学校教諭一級免許状(地理歴史)
- 博物館学芸員 ■ 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 金融 ■ 情報通信 ■ 電気・機械 ■ 公務員
- 大学院 ■ 学芸員 ■ 不動産 ■ 食品
- 学校教育 ■ 社会教育 など

学びのキーワード

日本史/東洋史/西洋史/賞讃/
伝統/文化/多文化共生・異文化理解

p53

発達教育学部

教育学科

POINT

- 免許・資格を入学後に複数選択できる(保育士・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教諭、特別支援学校教諭、社会教育士など)
- 免許・資格とプログラムは自由に組み合わせることが可能(例:小学校教諭の免許の課程と授業探究プログラムを履修して、よりわかりやすい授業ができる教諭をめざす、など)
- 国際性、多様性を具えた最先端の教育を学ぶ
- 台湾、シンガポール、ドイツの小学校や幼稚園でのフィールドワークが可能

取得可能な免許・資格

- 幼稚園教諭一級免許状 ■ 保育士資格*
- 小学校教諭一級免許状 ■ 中学校教諭一級免許状(音楽)
- 高等学校教諭一級免許状(音楽)
- 社会教育士(称号) ■ 社会教育主事(任用)
- 学校図書司書教諭 ■ 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 学校教育 ■ 幼児教育・保育 ■ 公務員
- 一般企業 ■ 大学院進学 など

学びのキーワード

教育/幼児教育・保育/音楽/
子どもの学びと育ち/ジェンダー/
多文化共生・異文化理解/ユニセフ・NPO

p59

心理共生学部

心理共生学科

POINT

- 「心理学」「養護・保健学」「社会福祉学」を複合的に学びつつ、専攻の進路によって重点を置く領域を自ら選択し、人々のウェルビーイングの向上や共生社会の実現に必要な知識とスキルを身につける
- 一人ひとりが自ら進む生き方に沿った豊かで健康的な生活を安心して送れる社会を築いていくことに資する人材を養成
- 社会福祉士国家試験合格者26人(合格者率42%)
※2024年3月発達教育学部心理共生学科福祉教育専攻卒業生

取得可能な免許・資格

- 公認心理師国家試験受験資格**
(大学修了後、もしくは卒業後)
- 認定心理士* ■ 認定心理士(心理臨床)**
- 養護教諭一級免許状
- 中学校教諭一級免許状(保健)
- 高等学校教諭一級免許状(保健)
- 社会福祉士国家試験受験資格** ■ 社会福祉士(任用)
- スクールソーシャルワーカー*
- 学校図書司書教諭 ■ 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 心理カウンセラー ■ シェアワーカー
- 学校教諭 ■ 一般企業・公務員 ■ 大学院進学 など

学びのキーワード

こころ/身体/社会/
ウェルビーイング/共生社会

p65

家政学部

食物栄養学科

POINT

- 管理栄養士の合格率86% ※2024年3月卒業生
- さまざまな企業や団体とのプロジェクトが充実
- HACCP対応の設備など実務的な学習環境
- 最先端の研究ができる(卒業論文で調査力と問題解決能力を養い、大学院も充実している)
- 実践実習の充実(食品科学や栄養学の理論を実践的に学び、専門技術を修得する)
- 地域の保健活動に貢献(栄養クリニックを設置)
- 在学中の海外留学

取得可能な免許・資格

- 管理栄養士国家試験受験資格
- 栄養士
- 栄養教諭一級免許状
- 中学校教諭一級免許状(家庭)
- 高等学校教諭一級免許状(家庭)
- 食品衛生管理者および食品衛生監視員(任用)
- 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 食品 ■ フードサービス ■ 保健衛生
- 医療 ■ 福祉 ■ 学校教育 など

学びのキーワード

食品/食文化/食育/保健・衛生/
ヘルス/栄養/キッチンサイエンス・調理

p71

生活造形学科

POINT

- 生活実用に関わる「造形意匠(デザイン)」「インテリア造形」「空間造形」の3領域を学ぶ
- 社会とつながる実践的なデザイン活動の場が充実
- 世界有数の文化遺産をもつ京都で生活造形やデザインを研究・制作
- 建築士の一級・二級の受験資格、衣料管理士、学芸員、放送科教員など、業界を代表する多数の資格が取得可能

取得可能な免許・資格

- 衣料管理士1級** ■ 級建築士(受験資格)**
- 二級建築士-木造建築士(受験資格) ■ 有資格者2名
- インテリア設計士 ■ 中学校教諭一級免許状(家庭)
- 高等学校教諭一級免許状(家庭)
- 博物館学芸員 ■ 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書
- 認定心理士(学芸員) ■ 認定学芸員(任用)
- 調剤師品品質管理士(TSA)(受験資格) ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- アパレル ■ 建築 ■ 住宅 ■ 住居・建材
- インテリア ■ デザイン ■ デザイン ■ 広告
- 出版・編集 ■ 情報・美術 ■ 美容 など

学びのキーワード

生活デザイン/ファッション/インテリア/空間デザイン/伝統/文化/工芸/陶芸/デザイン/分析/広告デザイン/人間工学/アトミックデザイン

p77

現代社会学部

現代社会学科

POINT

- 現代社会の幅広い分野を学んだうえで、5つのコース①文化・心理②家族・地域③経済・ビジネス④環境・公共⑤政治・国際関係から専門的な学びの方向性を選択
- 現代社会を深く適切に読み解く基礎となる3領域のスキル科目「英語」「調査」「情報」を用意
- 現代社会の諸問題を多角的に探究し、課題解決能力を身につける
- 異文化や多様性を学ぶ
- 学芸員としての海外留学プログラムを用意

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(社会)
- 高等学校教諭一級免許状(公民)
- 博物館学芸員 ■ 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 社会調査士 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- メーカー ■ 広告・マスコミ ■ 公務員
- NGO・NPO ■ 金融 ■ 情報通信 など

学びのキーワード

人間関係/倫理学/家族/地域社会/ジェンダー/
マーケティング/経済学/異文化理解/ICT/
プログラミング/統計学/ネットワーキング/分析/
フィールドワーク/社会調査/経営学/会計学

p83

法学部

法学科

POINT

- より良い社会をつくる法的解決能力を備えたジェンダー・センシティブな人材を養成
- 女子大生初かつ唯一の法学部(2010年設立)
- 1回生から4回生まで少人数ゼミで個々の進路や個性に合わせた教育を展開
- ジェンダー視点から法学を学ぶ
- 将来のキャリアを見据えた学びが充実
- 2024年3月までに4名の卒業生が司法試験に合格

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(社会)
- 高等学校教諭一級免許状(公民)
- 学校図書司書教諭
- 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- 法律事務所 ■ 公務員 ■ 情報通信
- 製造 ■ マスコミ ■ 流通 ■ 金融 など

学びのキーワード

人間関係/倫理学/家族/地域社会/ジェンダー/
マーケティング/経済学/異文化理解/ICT/
プログラミング/統計学/ネットワーキング/分析/
フィールドワーク/社会調査/経営学/会計学

p89

データサイエンス学部

データサイエンス学科

POINT

- 女子大生初のデータサイエンス学部
- ビッグデータ・AIを活用し、課題解決や新たな価値創造へとつながる文理融合プログラム
- 広(社会から求められている)最前線の学び
- 行政・企業と連携した課題解決型学習による実践的な学び
- 数学が苦手な人向けのサポートなど充実した学習環境
- 数学、情報の教員免許が取得可能
- 医療・福祉・健康から宇宙、社会、ビジネス、スポーツに至るまで、さまざまな分野で活躍できるようにするための充実したカリキュラム
- やりたいことを見つければ!多様な研究テーマをもつ教員による少人数ゼミ

取得可能な免許・資格

- 中学校教諭一級免許状(数学)
- 高等学校教諭一級免許状(数学)(情報)
- 学校図書司書教諭 ■ 図書館司書 ■ 学校司書 ■ 日本語教師*

将来のイメージ

- マーケティング ■ 広告 ■ 情報通信
- 医療 ■ コンサルティング など

学びのキーワード

AI・機械学習/プログラミング/マーケティング/
統計学/ビッグデータ/ネットワーク/メディア

p95

全国から京女へ

都道府県別在籍者数

●北海道 27人	●新潟県 23人	●奈良県 429人	●熊本県 23人
●青森県 5人	●富山県 107人	●和歌山県 95人	●大分県 44人
●岩手県 7人	●石川県 88人	●鳥取県 37人	●宮崎県 10人
●宮城県 15人	●福井県 120人	●島根県 25人	●鹿児島県 19人
●秋田県 4人	●山梨県 4人	●岡山県 81人	●沖縄県 14人
●山形県 4人	●長野県 58人	●広島県 105人	●その他 4人
●福島県 11人	●岐阜県 44人	●山口県 45人	
●茨城県 13人	●静岡県 120人	●徳島県 39人	
●栃木県 7人	●愛知県 96人	●香川県 114人	
●群馬県 14人	●三重県 80人	●愛媛県 84人	
●埼玉県 21人	●滋賀県 608人	●高知県 35人	
●千葉県 20人	●京都府 1,101人	●福岡県 79人	
●東京都 38人	●大阪府 1,665人	●佐賀県 14人	
●神奈川県 17人	●兵庫県 485人	●長崎県 23人	

合計

6,121人

2024年5月1日現在



本州はもちろん、北海道や沖縄、四国など、全国各地出身の学生が京女で学び、学生のまち・京都ならではの生活を楽しんでいます。

自宅・下宿・寮の人数

京都を中心とした関西圏で暮らす自宅生が半数以上。下宿生や学寮生は、地元を離れ、自立しつつも、時には友だちと助け合って暮らしています。



自宅生
4,041人



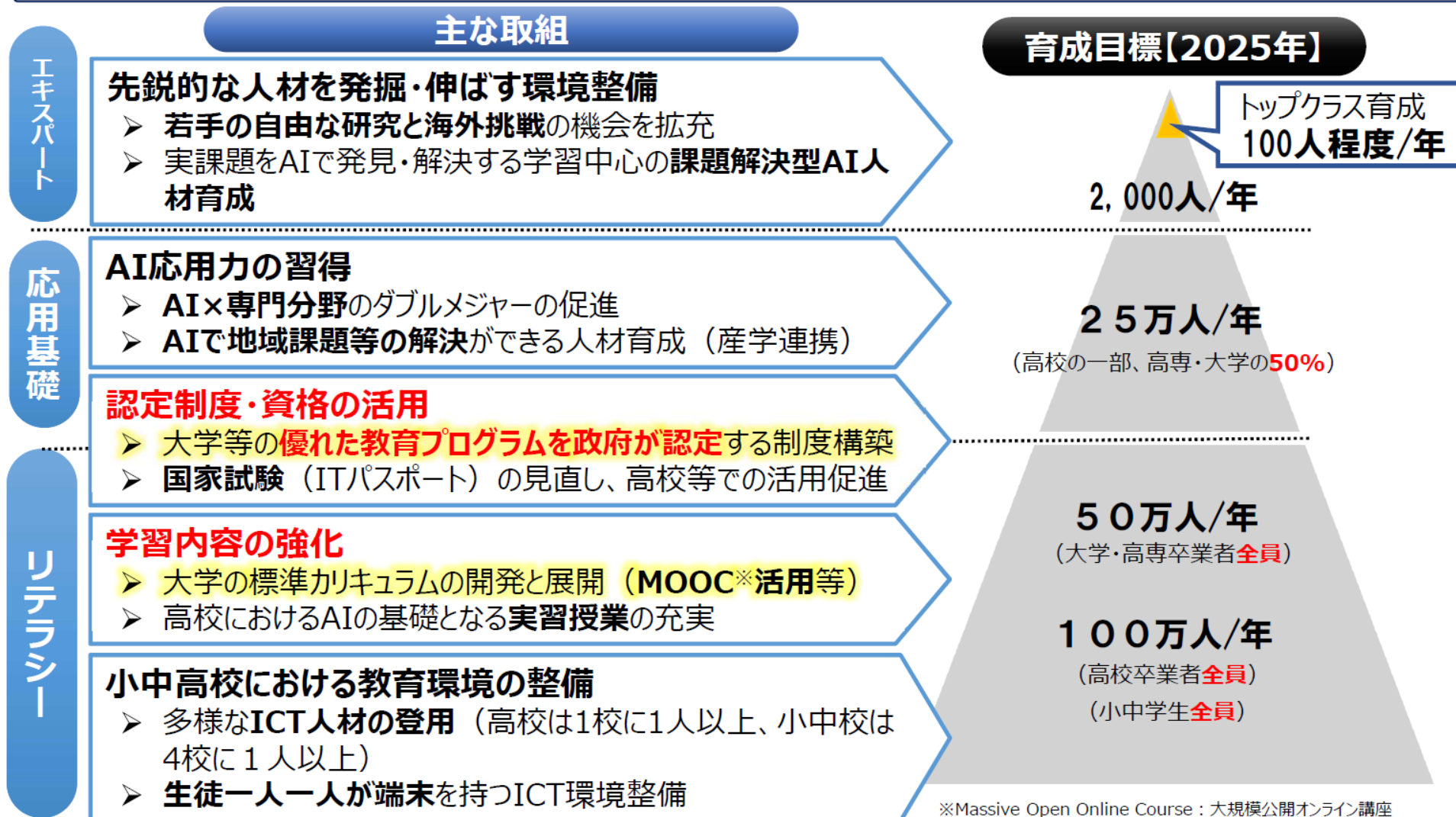
下宿生
1,728人



寮生
352人

AI戦略2019の教育改革

デジタル社会の「**読み・書き・そろばん**」である「**数理・データサイエンス・AI**」の基礎などの必要な力を**全ての国民**が育み、あらゆる分野で人材が活躍



「政府における数理・データサイエンス・AI教育取組」
文部科学省高等教育局専門教育課資料より引用（令和3年2月16日）

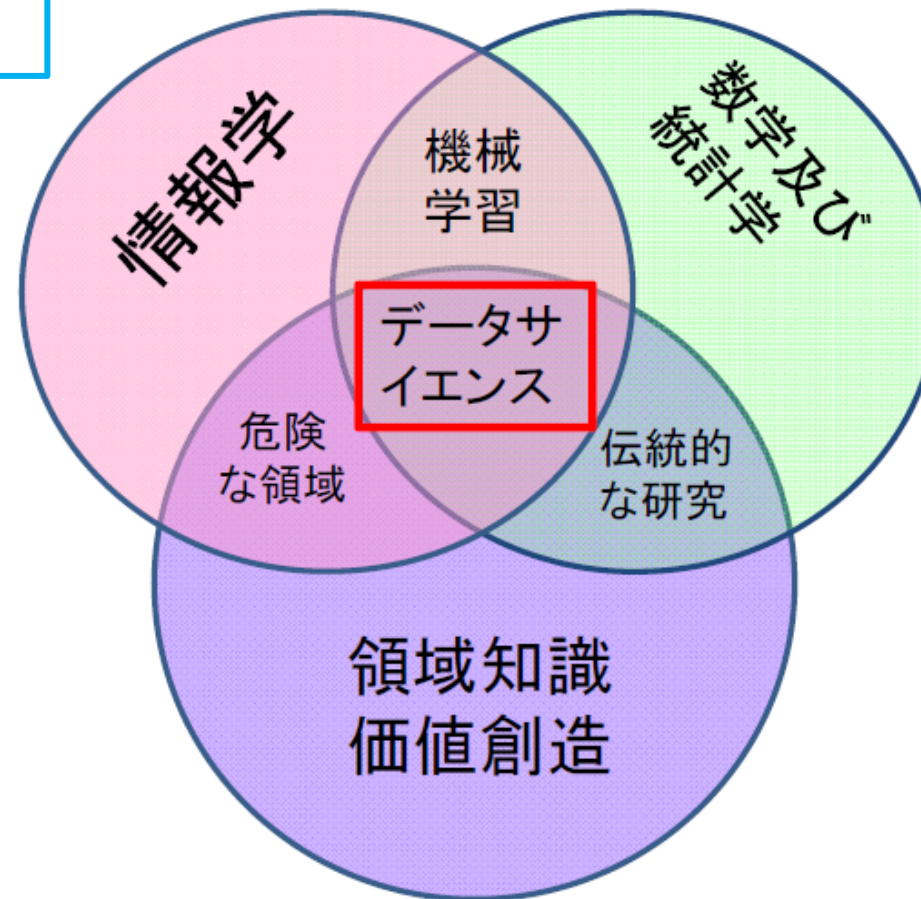
データサイエンスとは

データエンジニアリング
データの収集・加工・処理

データアナリシス
データの分析・解析

価値創造
価値の発見・創造

<http://drewconway.com/zia/2013/3/26/the-data-science-venn-diagram>



データサイエンスの3要素
という理解は一般的:

DS = 統計
+ コンピュータ
+ 領域知識

©Drew Conway
Data Consulting

STEM分野の女子比率

最下位

データサイエンス分野の女子比率

10%

という現実

STEM（科学・技術・工学・数学）
分野における**女子学生の比率**

（2021年9月OECD調査）

「自然科学・数学・統計学」分野で**27%**、

「工学・製造・建築」で**16%**と、

比較可能な36ヶ国でいずれも**最下位**。

特に

「データサイエンス」分野の女子比率

10%

2022年11月データサイエンティスト協会調査

なぜ京都女子大学が取り組むか

- ◆ ICTが社会のあらゆる場面に浸透し、データを活用して課題解決できる人材へのニーズが世界的に高まっている
- ◆ データサイエンス分野を担う女性人材まだまだ少ない現状であり、女性の活躍推進は不可欠
- ◆ 女性に関するデータは女性のデータサイエンティストに分析して欲しいという強いニーズ



ジェンダー平等の実現を目指す京都女子大学にとって

大きな挑戦であり使命である

本日の内容

1. はじめに
- 2. 京都女子大学データサイエンス学部**
3. 京都女子大学データサイエンス研究所
4. 自治体・企業との連携による実践的教育
5. 最後に

データサイエンス学部の設置

名称	データサイエンス学部 データサイエンス学科
開設年度	令和 5 年度（2023 年度）
入学定員	95 名
教員数	16 名
養成する人材像	日々刻々と変化する 技術革新・データ駆動社会に対応 できる ICT活用スキルおよび データサイエンスの知見 を身につけ、 女性の視点 を課題解決に活かし、あらゆる分野で 意思決定 の場に 参画 する女性を育成する。

京都女子大学データサイエンス学部の構成について

データサイエンス学部教員

職名	氏名	研究分野
教授	足立 浩平	
教授	阿部 豊行	博士（工学）／医学統計学、臨床試験、生物統計学
教授	市瀬 夏洋	博士（工学）／ニューラルネットワーク、バイオインフォマティクス
教授	栗原 考次	理学博士／計算機統計学、時空間統計学
教授	鈴木 富美子	博士（人間科学）／社会学、家族社会学
教授	張 星源	博士（経済学）／応用計量分析、イノベーション等の実証分析
教授	寺本 敬	博士（理学）／応用数理、数理情報、数理解析
教授	中村 智洋	博士（理学）／超大規模データ解析、ゲノムコホート、遺伝統計学、人類遺伝学
教授	安川 文朗	博士（経済学）／医療経済学、医療政策学、リスク学
教授	山田 隆行	博士（理学）／高次元データ解析、多変量解析
准教授	林 邦好	博士（情報科学）／機械学習、パターン認識、部分空間法
准教授	道城 秀吾	博士（理学）／数値シミュレーション、宇宙物理学、プログラミング
講師	石川 由羽	博士（情報科学）／機械学習、ヒューマンインタフェース、インタラクション
講師	土田 遼	博士（文化情報学）／次元縮約法、多次元尺度構成法

データサイエンス研究所教員

竹村 祐亮
(助教)

空間統計学、計算機統計学

統計学関係教員

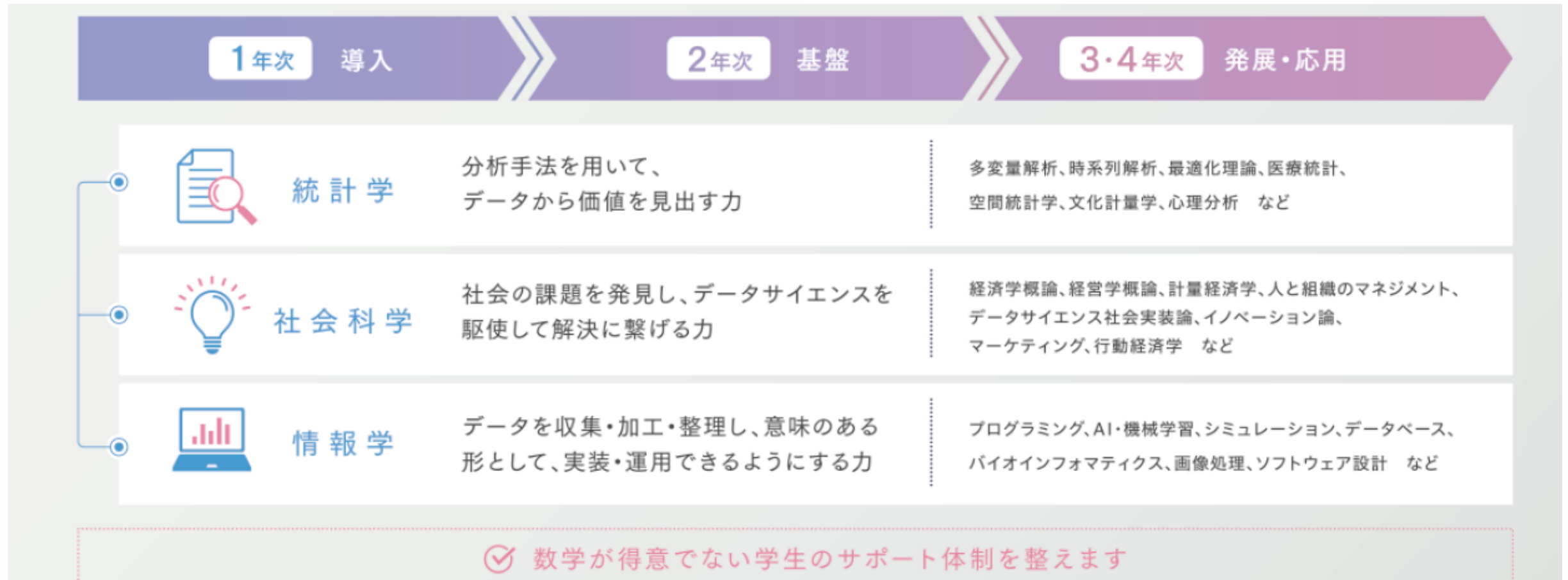
文理融合型の1学部1学科

文系・理系を問わずデータと社会のつながりに関心のある者を幅広く受入

2024年4月入学生

数学Ⅲまで：36名、
数学Ⅱ、数学Bまで：48名、
数学Ⅰ、数学Aまで：12名

データサイエンスの基盤となる**統計学**、**情報学**を体系的に丁寧に学び、それらを実社会で応用し**データに基づく課題解決**や**価値創造**をするための、経済学・経営学、医療等の応用科目を有機的に配置



京都女子大学のデータサイエンス教育（3分野の科目群）

3つの分野をバランスよく学ぶ

情報系科目群

プログラミングへの招待

データ構造とアルゴリズム、AI・機械学習
シミュレーション、データベース、数値解析
画像処理、自然言語処理、情報倫理・情報社会
バイオインフォマティクス・・・

演習・実践系科目群

データサイエンス演習科目群（全学年）

データサイエンス実践科目群

京都市、京都府や企業と連携し課題解決
最先端で活躍のプロによる講義・演習

数理・統計系科目群

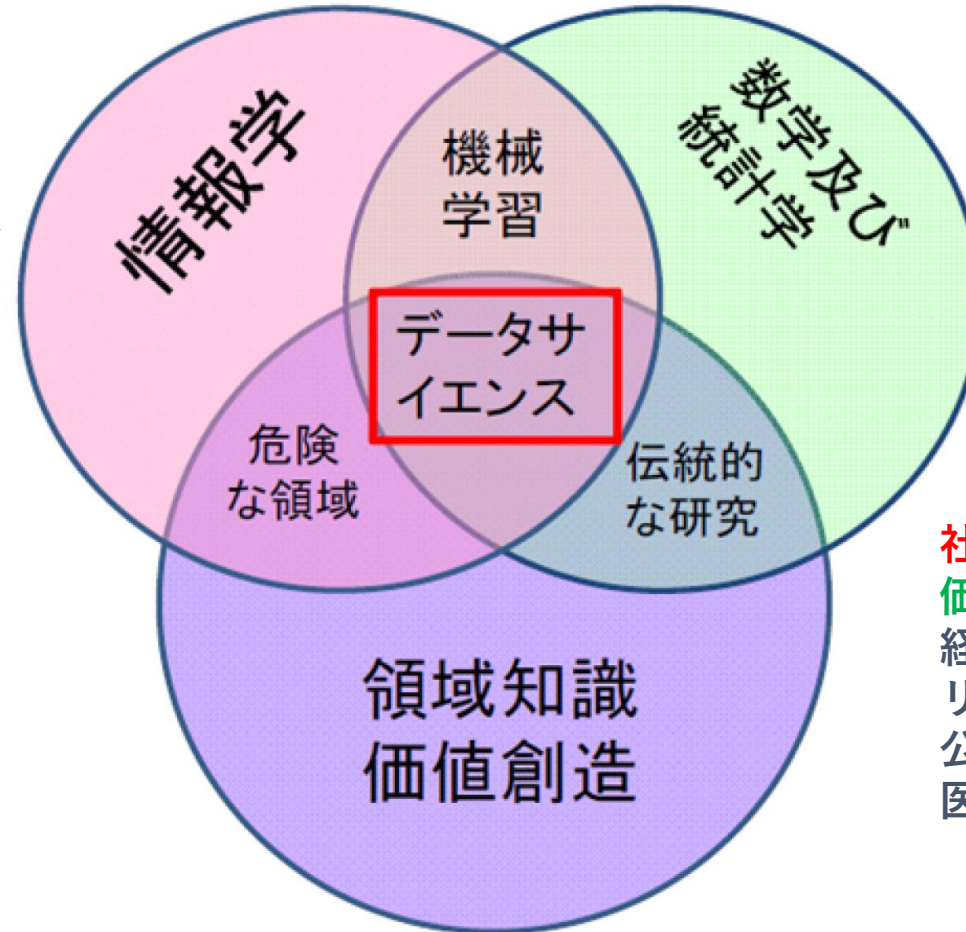
数学への招待、確率統計への招待

解析学、線形代数学（演習）
統計学入門、多変量解析、時系列解析
実験計画法、空間統計学、文化計量学
医療統計、生存時間解析、心理分析・・・

社会ソリューション系科目群（経済・経営学）

価値創造への招待

経済学概論、経営学概論、計量経済学
リスクマネジメント、社会保障論、家族と社会
公共経営、公的統計、社会データ分析
医療経済学、疫学統計と生活・・・



データサイエンティストが**学ぶべき内容**
年間2~3%が変化
(データサイエンティスト協会)



根幹にある**原理原則を精通**し、今後の変化
にも動じないレジリエンスを身に着ける

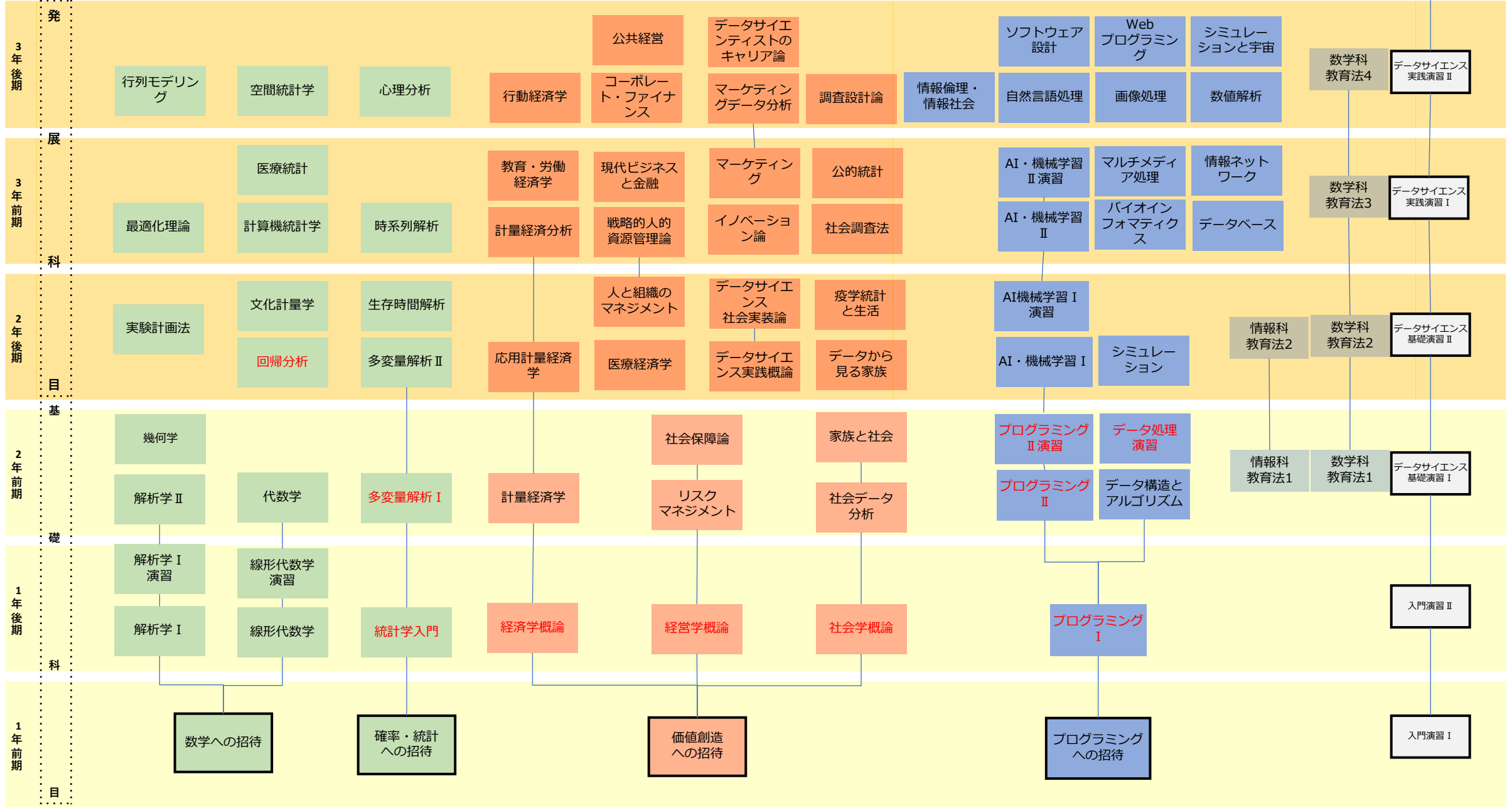
卒業研究

カリキュラムツリー

※黒枠は必修科目

※赤字は、必修ではないが履修を推奨する科目

4年後期
4年前期



数理・統計系科目

社会ソリューション科目

情報系科目

教職科目

ゼミ

履修モデル① 社会・ビジネスデータサイエンティスト系

社会・ビジネスデータサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、社会・ビジネスや経営に関する幅広い知識に基づき社会・ビジネスを理解し、課題を見出した上で、リサーチにデータ分析を依頼し、その分析結果のもとソリューションを提案できるプロフェッショナルを目指す人におススメの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
共通科目群	仏教学	仏教学 I A	2	仏教学 I B	2			仏教学 II A	2	仏教学 II B	2					
	言語コミュ科目	英語 I A1	1	英語 I B1	1											
		英語 I A2	1	英語 I B2	1											
		初修外国語 I A1	1	初修外国語 I B1	1											
		初修外国語 I A2	1	初修外国語 I B2	1											
	情報基盤科目	情報リテラシー	2													
		データ・AIリテラシー	2													
	健康科学科目	運動と健康科学	2													
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解 等					教養科目	2	連携活動	2	連携活動	2					
						教養科目	2									
社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	人と組織のマネジメント	2	社会調査法	2	公共経営	2				
			経営学概論	2	リスクマネジメント	2	医療経済学	2	戦略的資源管理論	2	行動経済学	2				
			社会学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	計量経済分析	2	データサイエンティストのキャリア論	2				
					家族と社会	2	データからみる家族	2	イノベーション論	2	マーケティングデータ分析	2				
					社会保障論	2	DS実践概論	2	教育・労働経済学	2	コーポレート・ファイナンス	2				
							DS社会実装論	2	公的統計	2	調査設計論	2				
									マーケティング	2						
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	AI・機械学習 I	2								
					プログラミング II 演習	2	AI・機械学習 I 演習	2								
					データ処理演習	2										
数理・統計系	数学への招待 確率・統計への招待	2	解析学 I	2	多変量解析 I	2	回帰分析	2								
		2	解析学 I 演習	2												
			線形代数学	2												
			線形代数学演習	2												
	統計学入門	2														
演習	入門演習 I	2	入門演習 II	2	DS基礎演習 I	2	DS基礎演習 II	2	DS実践演習 I	2	DS実践演習 II	2	DS上級実践演習 I	2	DS上級実践演習 II	2
													卒業研究	2	卒業研究	2
単位数合計		22		26		24		22		22		16		4		4
															合計単位数	140

履修モデル② ビジネスデータサイエンティスト系

ビジネスデータサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、将来企業で商品やサービスが継続的に売れるための仕組みを作るマーケターやクライアントの課題解決策を提示するコンサルタントなどを目指す人におすすめの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次				
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター		
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2				
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1												
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1												
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1												
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1												
	情報基盤科目	情報リテラシー	2														
		データ・AIリテラシー	2														
	健康科学科目	運動と健康科学	2														
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等					教養科目	2	連携活動	2	連携活動	2						
						教養科目	2										
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	人と組織のマネジメント	2	戦略的人的資源管理論	2	行動経済学	2				
				経営学概論	2	社会データ分析	2	DS実践概論	2	イノベーション論	2	データサイエンティストのキャリア論	2				
				社会学概論	2			DS社会実装論	2	マーケティング	2	マーケティングデータ分析	2				
										現代ビジネスと金融	2	コーポレート・ファイナンス	2				
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2	AI・機械学習Ⅱ	2	Webプログラミング	2				
						プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2	AI・機械学習Ⅱ演習	2						
						データ処理演習	2			データベース	2						
	数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	多変量解析Ⅱ	2	計算機統計学	2	空間統計学	2				
		確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2			回帰分析	2	最適化理論	2	心理分析	2				
				線形代数学	2												
			線形代数学演習	2													
			統計学入門	2													
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2	
													卒業研究	2	卒業研究	2	
単位数合計		22		26		18		18		24		18		4		4	
																合計単位数	134

履修モデル③ 政策提言データサイエンティスト系

政策提言データサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、地方自治体や官公庁などの公的機関などにおいて、データに基づき意思決定に重要な政策の立案や開発を行うことができる能力を持つ人材を目指す人におススメの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次					
			2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター			
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1													
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1													
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1													
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1													
	情報基盤科目	情報リテラシー	2															
		データ・AIリテラシー	2															
	健康科学科目	運動と健康科学	2															
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等					教養科目	2											
						教養科目	2	ジェンダー科目	2	連携活動	2							
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	医療経済学	2	社会調査法	2	公共経営	2					
				経営学概論	2	リスクマネジメント	2	応用計量経済学	2	計量経済分析	2	行動経済学	2					
				社会学概論	2	社会データ分析	2	データからみる家族	2	イノベーション論	2	調査設計論	2					
						家族と社会	2	DS実践概論	2	教育・労働経済学	2							
						社会保障論	2	DS社会実装論	2	公的統計	2							
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2			情報倫理・情報社会	2					
				データ処理演習	2	プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2									
	数理・統計系	数学への招待	2	線形代数学	2	多変量解析Ⅰ	2	回帰分析	2	最適化理論	2							
		確率・統計への招待	2	線形代数学演習	2		2	多変量解析Ⅱ	2									
				統計学入門	2													
	演習	DS入門演習Ⅰ	2	DS入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2	
													卒業研究	2	卒業研究	2		
	単位数合計		22		24		24		22		20		12		4		4	
																	合計単位数	132

履修モデル④ 数理データサイエンティスト系

数理データサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、メーカーや食品会社などの生産ラインで得られるデータに基づき品質管理を行うことやシミュレーターを開発する企業への就職などを目指す人におすすめの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1 セメスター		2 セメスター		3 セメスター		4 セメスター		5 セメスター		6 セメスター		7 セメスター		8 セメスター	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
仏教学	仏教学 I A	2	仏教学 I B	2					仏教学 II A	2	仏教学 II B	2				
共通科目群	言語コミュ科目	英語 I A1	1	英語 I B1	1											
		英語 I A2	1	英語 I B2	1											
	情報基盤科目	初修外国語 I A1	1	初修外国語 I B1	1											
		初修外国語 I A2	1	初修外国語 I B2	1											
		情報リテラシー	2													
	健康科学科目	データ・AIリテラシー	2													
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解 等	運動と健康科学	2													
					教養科目	2	連携活動	2								
					教養科目	2										
				ジェンダー科目	2											
社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	公的統計	2	マーケティングデータ分析	2				
			経営学概論	2	計量経済学	2	DS実践概論	2	計量経済分析	2	行動経済学	2				
			社会学概論	2			DS社会実装論	2	マーケティング	2	シミュレーションと宇宙	2				
							疫学統計と生活	2	データベース	2						
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	AI・機械学習 I	2								
					プログラミング II 演習	2	AI・機械学習 I 演習	2								
					データ処理演習	2										
数理・統計系	数学への招待	2	解析学 I	2	多変量解析 I	2	生存時間解析	2	計算機統計学	2	空間統計学	2				
	確率・統計への招待	2	解析学 I 演習	2	解析学 II	2	多変量解析 II	2	最適化理論	2	心理分析	2				
			線形代数学	2			実験計画法	2	医療統計	2	行列モデリング	2				
			線形代数学演習	2			文化計量学	2	時系列解析	2						
演習		統計学入門	2			回帰分析	2									
	入門演習 I	2	入門演習 II	2	DS基礎演習 I	2	DS基礎演習 II	2	DS実践演習 I	2	DS実践演習 II	2	DS上級実践演習 I	2	DS上級実践演習 II	2
単位数合計		22		26		22		26		20		16		4		4
															合計単位数	140

履修モデル⑤ 医療データサイエンティスト系

医療データサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、データに基づき開発した治療薬の安全性や有効性を検証する製薬企業の統計解析部門や病院等の医療機関において医療情報を扱う部署などへの就職を目指す人におススメの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次				
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター		
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学 I A	2	仏教学 I B	2					仏教学 II A	2	仏教学 II B	2				
	言語コミュ科目	英語 I A1	1	英語 I B1	1												
		英語 I A2	1	英語 I B2	1												
		初修外国語 I A1	1	初修外国語 I B1	1												
		初修外国語 I A2	1	初修外国語 I B2	1												
	情報基盤科目	情報リテラシー	2														
		データ・AIリテラシー	2														
	健康科学科目	運動と健康科学	2														
	教養、ジェンダー					教養科目	2	教養科目	2								
	連携活動					教養科目	2										
国際理解等					ジェンダー科目	2											
専門科目群	社会ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	医療経済学	2	公的統計	2	公共経営	2				
				経営学概論	2	リスクマネジメント	2	疫学統計と生活	2	イノベーション論	2						
				社会学概論	2	社会保障論	2										
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	AI・機械学習 I	2	AI・機械学習 II	2	画像処理	2				
						プログラミング II 演習	2	AI・機械学習 I 演習	2	AI・機械学習 II 演習	2	情報倫理・情報社会	2				
						データ処理演習	2			マルチメディア処理	2						
										バイオインフォマティクス	2						
	数理・統計系	数学への招待	2	解析学 I	2	多変量解析 I	2	生存時間解析	2	計算機統計学	2	調査設計論	2				
		確率・統計への招待	2	解析学 I 演習	2	解析学 II	2	多変量解析 II	2	最適化理論	2	空間統計学	2				
				線形代数学	2			実験計画法	2	医療統計	2						
				線形代数学演習	2			回帰分析	2	時系列解析	2						
				統計学入門	2												
	演習	入門演習 I	2	入門演習 II	2	DS基礎演習 I	2	DS基礎演習 II	2	DS実践演習 I	2	DS実践演習 II	2	DS上級実践演習 I	2	DS上級実践演習 II	2
													卒業研究	2	卒業研究	2	
	単位数合計		22		26		24		20		24		14		4		
														合計単位数	138		

履修モデル⑥ データエンジニア、AIデータサイエンティスト系

データエンジニア、AIデータサイエンティストを目指す人の履修モデルです。進路は多様ですが、例えば、企業のシステムエンジニアやメーカーの開発部門、企業内でデジタルトランスフォーメーションを積極的に推進する部署への就職を目指す人におススメの履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1 Semester		2 Semester		3 Semester		4 Semester		5 Semester		6 Semester		7 Semester		8 Semester	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
共通科目群	仏教学	仏教学 I A	2	仏教学 I B	2					仏教学 II A	2	仏教学 II B	2			
	言語コミュ科目	英語 I A1	1	英語 I B1	1											
		英語 I A2	1	英語 I B2	1											
	情報基盤科目	初修外国語 I A1	1	初修外国語 I B1	1											
		初修外国語 I A2	1	初修外国語 I B2	1											
	健康科学科目	情報リテラシー	2													
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解 等	データ・AIリテラシー	2													
		運動と健康科学	2													
						教養科目	2	教養科目	2							
	社会ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	マーケティング	2	マーケティングデータ分析	2			
			経営学概論	2	計量経済学	2	DS実践概論	2								
			社会学概論	2			DS社会実装論	2								
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	AI・機械学習 I	2	AI・機械学習 II	2	数値解析	2				
					プログラミング II 演習	2	AI・機械学習 I 演習	2	AI・機械学習 II 演習	2	ソフトウェア設計	2				
					データ構造とアルゴリズム	2	シミュレーション	2	データベース	2	Webプログラミング	2				
					データ処理演習	2			情報ネットワーク	2	情報倫理・情報社会	2				
									バイオインフォマティクス	2	画像処理	2				
									マルチメディア処理	2	シミュレーションと宇宙	2				
数理・統計系	数学への招待	2	解析学 I	2	多変量解析 I	2	回帰分析	2								
	確率・統計への招待	2	解析学 I 演習	2			文化計量学	2								
			線形代数学	2												
			線形代数学演習	2												
演習	入門演習 I	2	入門演習 II	2	DS基礎演習 I	2	DS基礎演習 II	2	DS実践演習 I	2	DS実践演習 II	2	DS上級実践演習 I	2	DS上級実践演習 II	2
													卒業研究	2	卒業研究	2
単位数合計		22	26		22		20		18		20		4		4	
															合計単位数	136

履修モデル⑦ 情報学・統計学に精通した教員

情報学・統計学に精通した教員を目指す人の履修モデルです。

	1年次				2年次				3年次				4年次				
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター		
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2			仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2						
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1												
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1												
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1												
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1												
	情報基盤科目	情報リテラシー	2														
		データ・AIリテラシー	2														
	健康科学科目	運動と健康科学	2														
		スポーツ実践	1														
	教養、ジェンダー連携活動					教養科目	2	教養科目	2								
国際理解等					ジェンダー科目	2			教養科目	2							
社会ソリューション系	価値創造への招待	2	(社会学概論) (2※)				データから見る家族	2	教育・労働経済学	2							
			(経済学概論) (2※)				DS社会実装論	2									
			(経営学概論) (2※)				(社会学概論) (2※)										
							(経済学概論) (2※)										
							(経営学概論) (2※)										
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2	AI・機械学習Ⅱ	2	数値解析	2					
					プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2	AI・機械学習Ⅱ演習	2	ソフトウェア設計	2					
					データ処理演習	2			データベース	2	Webプログラミング	2					
									情報ネットワーク	2	情報倫理・情報社会	2					
									マルチメディア処理	2	画像処理	2					
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	回帰分析	2	時系列解析	2							
	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2	解析学Ⅱ	2	多変量解析Ⅱ	2									
			線形代数学	2	代数学	2											
			線形代数学演習	2	幾何学	2											
			統計学入門	2													
教職関連科目				数学科教育法1	2	数学科教育法2	2	数学科教育法3	2	数学科教育法4	2						
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ 卒業研究	2 2	DS上級実践演習Ⅱ 卒業研究	2 2	
教職に関する専門教育科目	教職論	2	教育心理学	2	日本国憲法	2	教育課程論	2	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	2	教育行政学	2	教育実習論		1		
	教育原論	2			道德教育論	2	特別支援教育論	1	生徒指導論	2			教育実習		2		
							教育方法論	2	進路指導論	2			中学校教育実習		2		
							人権教育論	1					教職実践演習(中・高)		2		
単位数合計		27		26~28(※)		28		26~28(※)		28		18		4		11	
																合計単位数	180
単位数合計(教職に関する専門教育科目除く)		23		22~24(※)		24		22~24(※)		22		16		4			4

※注意：社会学概論、経済学概論、経営学概論については、CAP制の関係から1年生後期、2年生後期で合計6単位修得する形を想定しています。

合計単位数(教職に関する専門教育科目除く) 139

- あらゆる分野につながる数理・統計学・情報学の理論と応用を丁寧に学ぶ
データサイエンス（課題、データ収集、分析、解釈、課題解決）の過程での知識・技能、
見方・考え方を丁寧に学び、価値創造のための感性を磨く（数理・統計、情報系科目群）
- 社会の問題解決・価値創造のための経済学・経営学の基礎的専門知識の修得
データサイエンス分野で必要とされる社会や人間理解について基礎的専門知識と理論
（社会ソリューション系科目群）
- 汎用的能力の修得（論理的思考力、問題解決力、コミュニケーションスキル）
少人数によるゼミナール形式のPBL科目による能動的・自発的グループワーク
（実践、演習系科目群）

取得可能な資格

教職課程認定

中学校教諭一種免許状（数学）

高等学校教諭一種免許状（数学、情報）

大学の講義で学ぶ（出題範囲の大部分の内容）

データサイエンティスト検定

統計検定（2級、準1級、データサイエンス発展）

情報処理技術者試験（ITパスポート、基本情報処理技術者）

その他

文系・理系を問わず入学者を受け入れるサポート体制（主に数学への対応）

- **入学前教育**（eラーニング等の活用）
- **補習科目の設定**（主に高校数学の内容）
- **確率・統計への招待、数学への招待、統計学入門**（**習熟度別クラス編成**）
- **数理・統計学、情報学に関する演習科目の充実**（**少人数教育、TAの活用**）
- **アカデミックカウンセリング**（専任教員が毎学期担当）
- **データサイエンスカフェ**（DS Cafe）

DS Café

教員や学生同士が一緒に議論や学びを共有する場です。資格取得に向けた勉強会の開催、外部から講師を迎えた定期的なセミナー開催など、学生と教員の間、データサイエンス関係者の交流の場としても活用していきます。



本日の内容

1. はじめに
2. 京都女子大学データサイエンス学部
- 3. 京都女子大学データサイエンス研究所**
4. 自治体・企業との連携による実践的教育
5. 最後に

データサイエンス研究所について

設置の目的（2022年4月設置）

京都女子大学のデータサイエンスに関する研究拠点として、行政・産業界・教育機関等と連携し、データサイエンスによる社会の課題解決に寄与するための実践的な研究を行う

1. データサイエンスに関する研究

データサイエンス実践教育・研究の推進

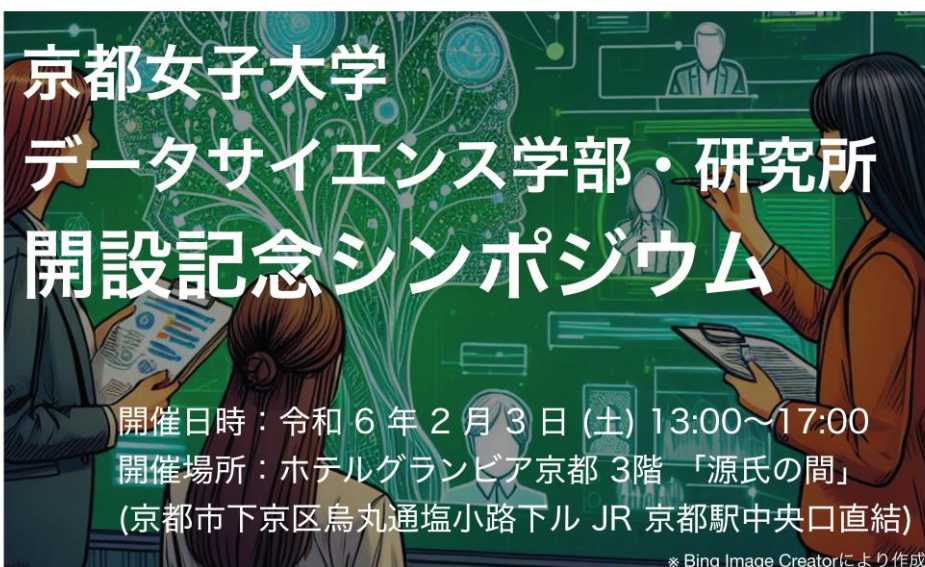
2. データサイエンスに関する産学官連携事業の実施

自治体・企業・大学などのステークホルダーと連携しデータサイエンスブレークスルー推進

3. 研究所の目的を達成するために必要と認めた事業

データサイエンス学部の教育への貢献、データサイエンスカフェの整備

データサイエンス学部・研究所の活動の一部



開催日時：令和6年2月3日(土) 13:00~17:00
 開催場所：ホテルグランビア京都 3階「源氏の間」
 (京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR 京都駅中央口直結)
 ※ Bing Image Creatorにより作成

開会挨拶 竹安栄子 (京都女子大学 学長)

来賓挨拶 藤澤亘 (文部科学省研究振興局学術基盤整備室 室長)
 山下晃正 (京都府 副知事)
 尾崎学 (京都市 デジタル化戦略監)

基調講演 竹村彰通 (滋賀大学 学長)

報告 「京都女子大学データサイエンス学部の教育と研究」
 栗原考次 (京都女子大学 データサイエンス学部長) 柴田敏之 (京都薬科大学 研究科長)
 京都府 (総合政策環境部大学政策課) 京都市 (総合企画局情報化推進室)
 熊野和久 (タッソー・システムズ(株) パブリックセンターディレクター)
 北西山武 (塩野義製薬(株) DX推進本部データサイエンス部長) 京都女子大学データサイエンス学部学生

パネルディスカッション
 竹村彰通 (滋賀大学 学長)
 椿広計 (統計数理研究所 所長)
 山本章博 (京都大学データ科学イノベーション教育研究センター長)
 小野陽子 (横浜市立大学データサイエンス学部 准教授、WiDSアンバサダー)
 佐伯論 (データサイエンティスト (DS) 協会 事務局長)

お申し込み方法
 下記専用フォームからお申し込み下さい
 (定員になり次第受付を終了いたします)
<https://forms.office.com/r/KC3bm22nE0>



京都女子大学
 データサイエンス学部・研究所

京都女子大学データサイエンス研究所・第1回データサイエンス統計領域シンポジウム 於 京都女子大学E校舎 〒605-0981 京都府京都市東山区今熊野北日吉町 35	15:20~15:40 休憩	座長：阿部貴行 (京都女子大学)
	15:40~16:40 招待セッションII	
12月16日(土)		統計的因果推論の考え方と確率的介入に基づく因果効果
09:30~ 受付開始		山本倫生 (大阪大学)
10:00~10:10 開会		エシェロン解析法：最近の展開と応用事例
		石岡文生 (岡山大学)
10:10~11:50 招待セッションI		Covid-19 新規感染者数のデータ収集と可視化
		山本義郎 (東海大学)
		座長：山田隆行 (京都女子大学)
大学スポーツ観戦調査とその分析	16:40~17:00 総合討論	
		横山暁 (青山学院大学)
測定技術の進化とデータサイエンス～野球を中心として～	17:00 閉会	
		小泉和之 (順天堂大学)
卓球におけるデータサイエンスの活用とゼロ変形交差一般化幾何分布による 打球回数のモデリング	18:30~ 情報交換会	
		酒折文武 (中央大学)
ヘルスデータサイエンスの現状と取り組み		
		富田誠 (横浜市立大学)
医療リアルワールドデータを用いた薬剤耐性対策における 臨床疫学・薬剤疫学研究と今後の薬学教育への展開		
		村木優一 (京都薬科大学)
11:50~13:20 昼休み		
13:20~15:20 特別企画セッション「データサイエンスと統計」		
		座長：栗原考次 (京都女子大学)
臨床試験を哲学する		
		手良向聡 (京都府立医科大学)
長崎大学 情報データ科学部のあゆみとこれから		
		西井龍映 (長崎大学)
データサイエンスにおける時空間統計科学の役割		
		矢島美寛 (東京大学)
データサイエンスと医学統計学 ～統計的因果推論の視点から～		
		岩崎学 (順天堂大学・統計数理研究所)

**データサイエンス
統計領域シンポジウム**

京都府、京都市との連携活動

京都府との協定締結について

京都女子大学と京都府は、データサイエンス教育・研究、人材育成等に関する包括的な連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定は、2023年度に本学がデータサイエンス学部を開設することに伴い、包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材や知識、情報などの資源を活用して相互に協力することにより、人材育成ならびに地域社会に寄与することを目指しています。

なお、リカレント教育については令和4年11月より、京都府クリエイティブセンターと協力しデータサイエンスに関する講座（女性活躍応援コース）を実施しています。

1. 連携・協力する事業
 - (1) データサイエンスの研究・教育に関すること
 - (2) 人材の育成に関すること
 - (3) リカレント教育に関すること
 - (4) 地域活性化に関すること
 - (5) その他両者が協議して必要と認める事項

2. 協定締結日
2022年11月16日



京都市と京都女子大学間のデータサイエンス分野における連携・協力に関する協定の締結について

京都女子大学と京都市は、2022年3月28日（月）、データサイエンス分野における連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定は、2023年度に本学がデータサイエンス学部（仮称・認可申請中）の開設をめざしていることを機に、データサイエンスの分野において双方が連携・協力し、データの利活用による新たな価値の創出および地域社会の発展に寄与していくことを目的としています。

京都市役所で開催された協定締結式では、門川 大作京都市長と本学の竹安 栄子学長が協定書に署名し、協定の意義や抱負等に触れ挨拶を行いました。



企業との連携活動（一部）



締結式の様子：手前左 京都女子大学 竹安栄子 学長 手前右 ダッソー・システムズ株式会社 フィリップ・ゴドブ代表取締役社長 最左 データサイエンス学部 栗原考次学部長



左から本学竹安栄子学長、JR西日本理事イノベーション本部長の久保田 修司氏



左から本学竹安栄子学長、NECネットウエスアイ執行役員の佐々木 俊幸氏

自治体・企業・大学等との連携活動（データサイエンス関係）

連携企業一覧（連携順）



連携自治体一覧（連携順）



• 大学との連携

滋賀大学、京都薬科大学、京都大学、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、・・・

• データサイエンティスト協会

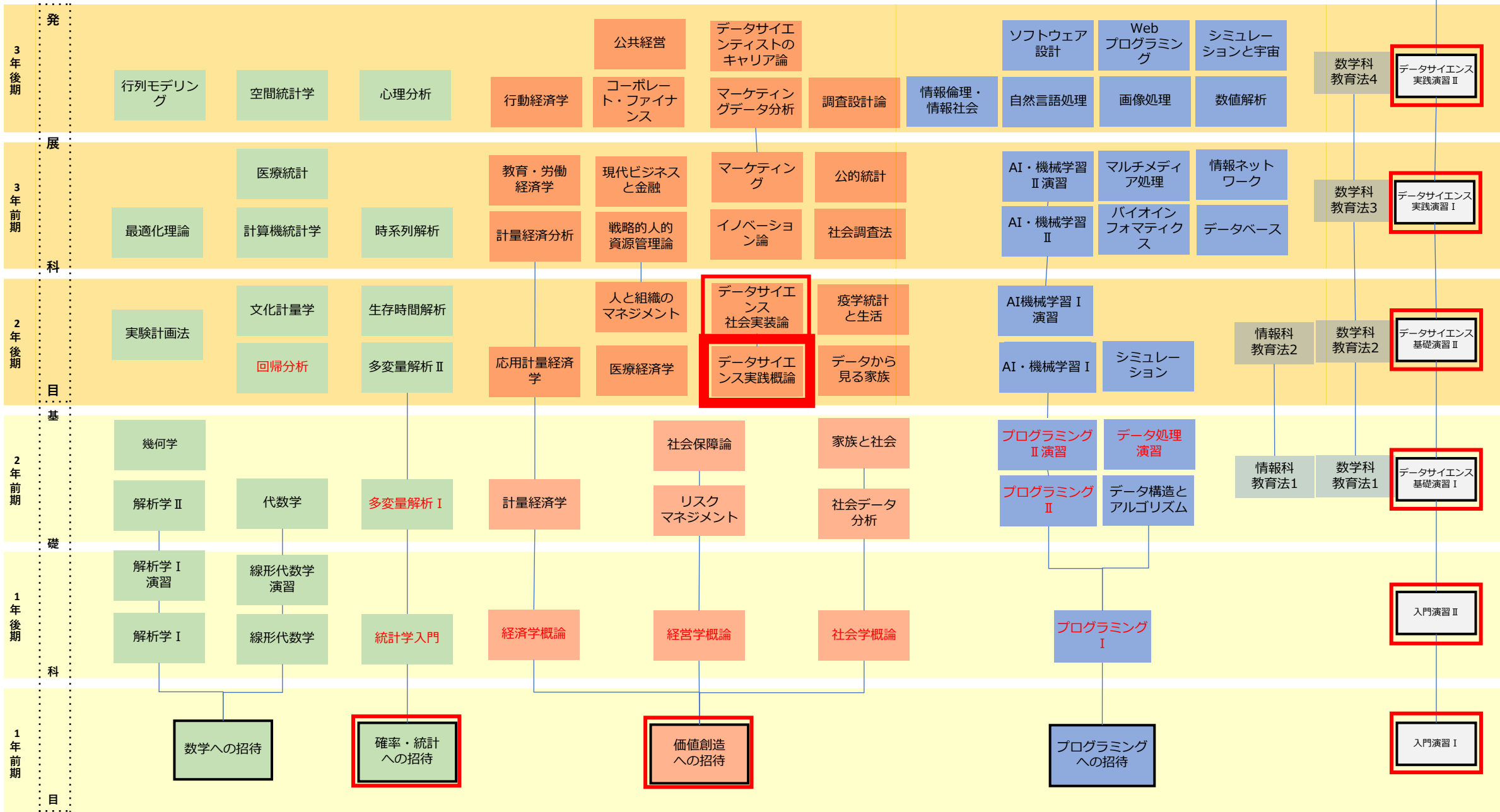
本日の内容

1. 京都女子大学について
2. 京都女子大学データサイエンス学部
3. 京都女子大学データサイエンス研究所
- 4. 自治体・企業との連携による実践的教育**
5. 最後に

自治体・企業との連携教育

卒業研究

4年後期
4年前期



自治体・企業と連携して開講する科目

自治体・企業と一部連携している科目

実践・演習科目：ゲストスピーカーによる講演リスト（2023年度）

データサイエンスに関連して活躍している**実務担当者**を招き、具体的な事例を通してデータサイエンスの最先端に触れ、大学における**学習内容が現場の実践とどのように関連するか**を考える

授業日	講演者	講演者所属	講義名	講演タイトル
2023/5/16	松本 亮介 様 林 明日香 様 松田 篤史 様	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本) デジタルソリューション本部 鉄道本部 イノベーション本部	確率・統計への招待	データサイエンスのリアル
2023/6/15	黒住 好忠 様	株式会社IDホールディングス	価値創造への招待	社会課題と価値創造（働くこと）
2023/7/5	林 正洋 様	京都市総合企画局情報化推進室	入門演習I	京都市のデータ活用
2023/7/5	山田 光浩 様	株式会社SCREENホールディングス サステナビリティ推進室	入門演習I	事業活動を通じた社会課題の解決とデータサイエンスの活用
2023/7/5	緒林 侑祐 様	京都府総合政策環境部デジタル制作推進課	入門演習I	京都府におけるデータ活用の現状とこれから
2023/7/11	田中 恭介 様	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本) デジタルソリューション本部 鉄道本部 イノベーション本部	確率・統計への招待	JR西日本の新規事業（技術収益化企画）の立上げから本格始動までの歩み
2023/7/11	林 明日香 様	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本) デジタルソリューション本部 鉄道本部 イノベーション本部	確率・統計への招待	JR西日本の地域と連携した取り組み
2023/7/13	潮 亨 様	株式会社JTBグローバル統括本部	価値創造への招待	ツーリズム産業の重要性と課題
2023/7/19	松本 麻見 様	オムロンヘルスケア株式会社 技術開発統轄部解析技術開発部	入門演習I	オムロンヘルスケアにおけるデータサイエンス活用
2023/7/19	Philippe COCATRIX 様	ダッソー・システムズ株式会社	入門演習I	A brief history of ものづくり - From CAD to Platform
2023/7/19	廣岡 青央 様	京都市産業技術研究所プロジェクト推進室	入門演習I	京都市産業技術研究所の取り組みについて

実践・演習科目：ゲストスピーカーによる講演リスト（2024年度）

企業・自治体名	形式	講演日	時間	ご講演テーマ	ご講演者・所属	ご講演者	
パナソニック インフォメーションシステムズ（株）	1,2年生合同	7/3	10:35～11:05	会社説明	人事総務部 採用・人材育成チーム 主務	横田 雅絵 様	
				データ活用事例紹介	データ&アナリティクスソリューション本部 主務	尾藤 由衣 様	
11:05～11:35			現場でのデータサイエンス活用事例 データサイエンス職/データエンジニアリング職 紹介	DX推進本部 データサイエンス部長	北西 由武 様		
京セラ（株）		11:35～12:05	製造現場におけるデータサイエンス活用事例	デジタルビジネス推進本部 データサイエンス部	児玉 彩 様 田村 壮 様		
エイツーヘルスケア（株）		1年生のみ	7/10	10:35～11:05	医薬品の臨床開発から育薬におけるデータサイエンスの活用	データサイエンス本部 データサイエンス第3部	平野 真太郎 様
オムロンヘルスケア（株）				11:05～11:35	オムロンヘルスケアにおけるデータサイエンス - 解析とデータ-	技術開発統轄部 学術戦略部	林 咲希 様
京都府	11:35～12:05			京都府におけるデータ利活用の現状とこれから	京都府 総合政策環境部 デジタル政策推進課	杉本 明洋 様	
（株）アスキー総合研究所	2年生のみ	7/10	10:35～11:05	日本のスタートアップエコシステムのハブ ASCII STARTUPの取り組み（角川アスキー総研・各種事業から）	デジタルメディア部 ASCII STARTUP課 ディレクター	松原 ルマ 様	
京都済生会病院			11:05～11:35	京都済生会病院の取り組み～病院医療におけるデータ～	事務部長	宮部 剛実 様	
中外製薬（株）			11:35～12:05	病気の無い世界への統計・データサイエンスの貢献	臨床開発本部 バイオメトリクス部 兼 デジタル戦略推進部 グループマネジャー	杉谷 康雄 様	
日立造船（株）	1,2年生合同	7/17	10:35～11:05	サステナブルな未来の実現に向けて ～データ利活用による社会課題の解決～	取締役 兼 常務執行役員 ICT推進本部長	橋爪 宗信 様	
兵庫県西宮市			11:05～11:35	西宮市におけるデータ利活用の状況と課題	総務局 デジタル推進部 デジタル推進課 係長	松浦 紘丈 様	
（株）インテージヘルスケア			11:35～12:05	クスリのデータを集めるということ	PMSモニターグループ グループリーダー	濱口 龍祐 様	

「価値創造への招待」外部講師による特別講義について

本学部社会ソリューション系必修科目である「価値創造への招待」第9回講義(6月15日)では、株式会社IDホールディングス専務執行役員である土谷明氏とAIテクニカルスペシャリストである黒住好忠氏をお招きして、「社会課題と価値創造（働くこと）」というテーマで講演が行われました。IDホールディングスはコンサルティングからITインフラ、ソフトウェア開発、システム運営管理、クラウド、サイバーセキュリティまでのシステム・インテグレーション(SI)を提供する情報サービス企業であり、東証プライム上場企業です。

お二人の講演では数多くのAI・データサイエンス活用事例が紹介され、今後AIがどのような社会的課題に貢献できるかについて大変示唆に富む、かつ具体的な問いを熱く語っていただきました。また多くの学生が関心をもち活発な質疑応答がなされました。学生にとってデータサイエンスについての理解を深め、自分の将来を考える良い機会になりました。



当日の授業風景



講演の様子

「価値創造への招待」外部講師による特別講義について

本学部の「価値創造への招待」7月13日の講義では、株式会社JTBグローバル統括本部 潮亨様（幼体アプリマーケティングジャパン株式会社出向中）をお招きして、「ツーリズム産業の重要性と課題」というテーマでご講演が行われました。潮様は同志社大学商学部を卒業し、早稲田大学ビジネススクールのMBA学位を取得されました。JTB本社においては海外旅行政策分析や中期経営計画をご担当されて、現在はインバウンド事業にも携わられています。また、宮城県石巻市復興支援のプロボノ事業、長崎県五島列島観光支援事業に関わる社会活動にもボランティアとしてご活躍されています。

ご講演では詳細なデータと事例を用いて、日本のツーリズム産業の社会的な重要性を経済の波及効果、雇用創出や国際競争力等の視点から紹介し、持続可能な開発目標（SDGs）におけるツーリズム産業の役割と課題、そしてツーリズム産業におけるデータサイエンティスト育成の必要性を熱く語っていただきました。学生にとってさまざまなデータに潜む知見や価値を明らかにし、社会や経済課題解決のためのデータサイエンスの役割への理解を深めるよい機会となりました。



潮亨氏のご講演の様子



受講者の様子

「確率・統計への招待」外部講師による特別講義について

本学部の数理・統計系必修科目「確率・統計への招待」第13回講義（7月11日）では、第5回講義（5月16日）に引き続き西日本旅客鉄道株式会社デジタルソリューション本部より田中恭介氏、林明日香氏をお招きし、JR西日本におけるデータサイエンスの活用事例についてご講演いただきました。

田中氏からは、「JR西日本の新規事業（技術収益化企画）の立上げから本格始動までの歩み」というテーマで、JR西日本において鉄道事業における安全性・生産性向上という課題に対し、AIを用いた画像認識技術がどのように活かされてきたのかについてご紹介いただきました。また、JR西日本が新たな分野へと事業を展開していく中での具体的な課題とデータサイエンスを活用していく上で今後身につけるべき力についてご講演いただきました。

林氏からは、「JR西日本の地域と連携した取り組み」というテーマで、JR西日本公式MaaSアプリケーション「WESTER」を活用した地域課題解決に向けた取り組みについてご講演いただきました。特に、京都市での事例を中心に課題設定および効果検証を行う際に意識すべき点について大変示唆に富む内容を語っていただきました。

講義の最後には、学生から「オープンイノベーションの取り組みを進めていく中で起こる社内での課題とその解決方法」や「京都市以外の自治体におけるWESTERの活用事例」について質問がされるなど活発な質疑応答がなされました。



講義の様子



田中恭介氏 ご講演の様子



林明日香氏 ご講演の様子



左から本学竹安栄子学長、JR西日本理事イノベーション本部長の久保田 修司氏

「入門演習I」外部講師による特別講義(7月5日)

本学部の必修科目である「入門演習I」第12回講義(7月5日)では、京都市総合企画局情報化推進室統計解析担当解析推進係長の林正洋氏、株式会社SCREENホールディングスサステナビリティ推進室の山田光浩氏、京都府総合政策環境部デジタル制作推進課副主査の緒林侑祐氏をお招きして、データサイエンス活用事例に関するご講演をいただきました。

林正洋氏からは「京都市のデータ利活用」というテーマでご講演いただき、人口統計を利用した自治体でのデータの利活用法について丁寧に説明していただきました。山田光浩氏からは、「事業活動を通じた社会課題の解決とデータサイエンスの活用」というテーマでご講演いただき、企業、特に半導体洗浄装置におけるデータの利活用について丁寧に解説していただきました。緒林侑祐氏からは、「京都府におけるデータ利活用の現状とこれから」というテーマでご講演いただき、データ利活用による防災への取り組みや府内自治体へのフィードバック法について丁寧に解説していただきました。

3名の講演ではAI・データサイエンス活用事例が自治体・企業の立場から紹介され、現在どのような社会的課題があり、それに対してAIやデータサイエンスがどのように貢献できるかについて大変興味に富む内容を熱く語っていただきました。すべての講演に対して多くの学生が関心を持ち、活発な質疑応答がなされました。学生にとってデータサイエンスについての理解を深めるだけでなく自分の将来を考える貴重な機会になりました。



林正洋氏の講演の様子



山田光浩氏の講演の様子



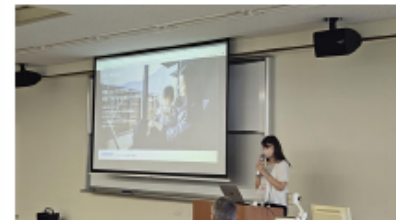
緒林侑祐氏の講演の様子

「入門演習I」外部講師による特別講義について

本学部の必修科目である「入門演習I」第14回講義(7月19日)では、オムロンヘルスケア株式会社 技術開発統轄部解析技術開発部の松本麻見氏、ダッソー・システムズ株式会社教育市場担当のPhilippe COCATRIX氏、地方独立行政法人 京都市産業技術研究所プロジェクト推進室副室長の廣岡青央氏をお招きして、データサイエンス活用事例に関するご講演をいただきました。

松本麻見氏からは「オムロンヘルスケアにおけるデータサイエンス活用」というテーマでご講演いただき、体温計や体重計などの日常のヘルスケアで用いられている機器に対するデータサイエンスの利活用を丁寧に説明していただくだけでなく、働きながら博士課程へ進学するキャリアパスなども教えてくださいました。Philippe COCATRIX氏からは、「A brief history of ものづくり - From CAD to Platform」というテーマでご講演いただき、コンピュータ支援設計を利用したものづくりについて丁寧に説明していただきました。多種多様なものづくりの話やコンピュータ支援設計の強みだけでなく、ものづくり実現のためのキャリアプランや学習支援について解説していただきました。廣岡青央氏からは、「京都市産業技術研究所の取り組みについて」というテーマでご講演いただき、伝統産業の技術を支援する立場からのデータの利活用について丁寧に解説していただきました。特に、京都の名産である日本酒醸造におけるデータ取得の難しさやデータ分析の難しさ、さらに、利用者へのフィードバックの難しさについて丁寧に解説していただきました。

3名の講演ではAI・データサイエンス活用事例だけでなく、研究テーマにつながるようなお話やキャリアプランを多角的な視点で熱く語っていただきました。すべての講演に対して多くの学生が関心を持ち、活発な質疑応答がなされました。学生にとって自身が学んでいるテーマが社会でどのように利用されているかの理解を深めるだけでなく、自分のキャリアプランを考える貴重な機会になりました。



松本麻見氏のご講演の様子



Philippe COCATRIX氏のご講演の様子



廣岡青央氏のご講演の様子

実践・演習科目：ゲストスピーカーによる講演 2024年度

第1回の7月3日（水）は**1期生・2期生の合同授業**で、**約200名の学生**が、パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社、塩野義製薬株式会社、京セラ株式会社の3企業からの講演を拝聴し、データサイエンス活用事例について学びました。

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社のご講演では人事総務部採用・人材育成チーム 主務 横田様とデータ&アナリティクスソリューション本部 主務 尾藤様から会社紹介と実際に行っているデータサイエンス支援ツールの紹介やその活用事例についてご講演いただきました。データをビジネスシーンで活かすためのポイントやビジネス現場主導でのデータ活用（現場ドリブン）の重要性、また社内の「一部の人ができること」ではなく、全員ができるように工夫する必要性やデータサイエンス支援ツールの使われ方を学びました。

塩野義製薬株式会社のご講演では、DX推進本部 データサイエンス部長 北西様よりデータサイエンス職やデータエンジニアリング職の紹介と製薬会社におけるデータの活用事例についてご講演いただきました。職種紹介ではデータサイエンス職における働き方や専門職としてのマインド、会社におけるスキル支援策などを説明いただきました。データ利活用では、感染症の例を用いてわかりやすく説明していただきました。

京セラ株式会社のご講演ではデジタルビジネス推進本部 データサイエンス部 児玉様、田村様より会社紹介とデータサイエンス部の紹介と製造現場におけるデータサイエンスの活用事例についてご講演いただきました。会社紹介とデータサイエンス部の紹介では、データサイエンスの活躍の場が社内のいたるところにあることを説明いただきました。活用事例では、工業製品の例を用いて解決すべき課題の設定法やデータ取得の難しさ、現場とのやり取りでのやりがいなどについて説明いただきました。

1期生・2期生のデータサイエンスの学生が一堂に会する貴重な機会にもなり、竹安学長より熱い応援メッセージもいただきました。データサイエンス学部の学生にとって、現在学んでいる内容がどのように社会に応用されているのか、基礎理論がどこに生きるのかを知る機会となりました。さらに自身のキャリアプランについて考える良いきっかけとなりました。



パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社のご講演の様子



塩野義製薬株式会社のご講演の様子



京セラ株式会社のご講演の様子

実践・演習科目：企業訪問 2023年度（1）

企業や行政等のデータサイエンスに関連した部署を訪問し、**将来のモデルケース**となる社会人の方々とのふれあうとともに、それぞれの部署に関連した課題に関する**グループワーク**や**ワークショップ**を行う

必修科目にて現場見学を実施
13の企業・自治体に学生が訪問

2
学生の
取り組み

1 回生科目である「入門演習II」では、社会で利用されるデータサイエンスを勉強するために、現地見学を実施しています。2023年度は計13の企業・行政の中から、学生たちはそれぞれ1ヶ所を選んで訪問しました。



JR西日本での様子
アイデア出しのワークショップで学生同士が活発な議論を行い、そのアイデアをJR西日本の社員の前で発表しました。



京都府での様子
事前課題として考えてきた「学生の京都府内への定着に向けての施策」について京都府職員に向けて発表しました。

現場見学	企業・自治体名	見学先
11/28（火）	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)	大阪
	株式会社JTB	京都
	京セラ株式会社	京都
	京都市	京都
	ダイハツ工業株式会社	大阪
	ダッソー・システムズ株式会社	名古屋
	株式会社インテージ	大阪
	株式会社SCREENホールディングス	京都
12/5（火）	京都府	京都
	西日本電信電話株式会社（NTT西日本）	大阪
	塩野義製薬株式会社	大阪
	オムロンヘルスケア株式会社	京都
	エイツーヘルスケア株式会社	大阪

実践・演習科目：企業訪問の具体例（JR西日本）

日時

1日目：11/27(月) 14:30～17:30

2日目：11/28(火) 13:00～16:00

概要

- JR西日本グループの開発技術紹介
- オープンイノベーションの取組紹介
- 実践的テーマでワークショップ

スケジュール

時間	1日目【11/27(月)14:30～17:30】	2日目【11/28(火)13:00～16:00】
14:30	オリエンテーション（10）	グループワーク ・ プレゼンテーション
15:00	JR西日本G開発技術の紹介（60）	
15:30	移動	
16:00	大阪駅うめきたエリア紹介（30）	
16:30	移動	
16:30	AIカメラ体験（30）	
17:00	2日目に向けた課題説明	振返り/アンケート回答

検討課題：学生の京都府内への定着に向けての施策の検討

京都には43の大学・短大があり、約17万人の学生が学んでいます。
しかしながら、京都で学ぶ学生の多くは、就職時に他府県へと流出しています。
少しでも多くの学生が、京都府内企業で就職し、定着してもらうために、京都府としてどのようなことができるかと考えられますか。
次の参考資料や、御自身に当てはめた場合に思うこと、経験等も踏まえて考えてみてください。

参考資料：京都府・大学等を取り巻く状況について

府内大学の状況	1
府内・府外への人口流出状況	3
県内大学出身者の県内大学就職者の状況	4
18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移	5
私立大学における定員充足率等の推移	6

（その他参考）マイナビ2023卒大学生 Uターン・地元就職に関する調査

（URL: [2023年卒大学生Uターン・地元就職に関する調査 | マイナビキャリアリサーチLab \(mynavi.jp\)](https://mynavi.jp/career/2023/04/20/2023-graduate-u-turn-local-employment-survey)）

データサイエンス実践的教育・研究の推進

データサイエンスの教育・研究の向上を目指し、学会、自治体、企業などが主催するデータサイエンスに関するコンペティションやハッカソンなどの企画に積極的に参加し、データサイエンスの実践的能力を身に着ける

- ◆ 総務省地域デジタル基盤推進事業「スマート道路灯を活用した交通安全課題」における「スマート道路灯の活用法・発展性に関するワークショップ」へ参加し、2024年2月1日にワークショップ成果発表会では裾野市長の前でプレゼンテーション
- ◆ 日本統計学会スポーツデータサイエンス分科会と情報・システム研究機構統計数理研究所が主催・開催しているコンペティションのインフォグラフィック部門に2024年1月6-7日参加
- ◆ 京都市主催のハッカソンKYOTO PLATEAU HACK 2023の学生の参加

学生の取り組み
1

データを駆使して交通安全課題の解決をめざす

総務省採択事業で学生がプレゼンテーション!
スマート道路灯とローカル5Gを活用したアイデアを提案

スマート道路灯とローカル5Gを活用した交通安全課題の解決をめざす実証事業において、本学科の有志の学生が、静岡県裾野市役所にてプレゼンテーションを行いました。本事業は、NTTコミュニケーションズ株式会社を代表とし、複数の企業が参加して、裾野市でスマート道路灯の実証実験を行っており、その参加企業であるグッソー・システムズ社との産学連携の一環として参加しました。参加学生54名によるワークショップを経て、8グループ18名が裾野市役所を訪れ、アイデアを発表しました。

発表されたアイデア

- 交通事故の防止・道路の渋滞解消などの交通安全課題の解決
- 災害時の情報収集や避難所への案内
- 動物検知センサーによる検知対策
- 裾野市内で開催されるイベントでのスポンサー表示
- 屋や意などの宮殿による被害への対策

データサイエンス学科

多様な学生のデータサイエンス関連活動の支援

データサイエンス学部生向け

《IT業界》 キャリアデザイン 入門<全3回>

この講座では、(株)リンクレア(独立系SIer、創業53年)で現在活躍中の方々から仕事に関する“リアル”なお話しを聞き、IT業界およびIT企業で「働く」ということについて理解を深めます。また、さまざまな年代・役割を担う女性の働き方を知ることで、自分自身の将来「なりたい姿・キャリア」について考えるきっかけとさせていただきます。

講義の後には講師や若手社員との『懇談会』を予定しています。リラックスした雰囲気の中で、疑問点など質問することができます。奮ってご参加ください。

第1回 IT業界、IT企業のリアル

2023年10月25日(水) 14:45~16:15 E101教室

<講師>吉澤 均(株式会社リンクレア 代表取締役社長)、森高 寛子(経営企画室、1996年入社)

<内容>IT業界が社会をどのように支えているか、変えているのか。IT企業が担う社会の中の役割、仕事内容について。企業内の各部署がどのような仕事をしているのか。

第2回 システムエンジニア(SE)の仕事

2023年11月15日(水) 14:45~16:15 E101教室

<講師>長岡 牧子(SE、1997年入社 京都女子大学卒)、馬谷 幸恵(SE、2008年入社)

<内容>情報システム構築の全体の流れ・工程を説明し、その工程におけるシステムエンジニアの役割、仕事内容について実際の事例をもとにイメージを深める。

第3回 ITコンサルタントの仕事

2023年12月06日(水) 14:45~16:15 E101教室

<講師>樋口 潤子(取締役、2006年中途入社 京都女子大学卒)、今井 佑(ITコンサルタント、2011年入社)

<内容>情報システム構築におけるITコンサルタントの役割、仕事内容について、実際の事例をもとに理解を深める。複雑性・不確実性が高まる時代に必要となる新たな「コンサルテーション」について紹介する。

皆さんがデータサイエンス学部で学び始めて半年が過ぎました。大学での学びが実際に社会でどう役立つのか、どう活かされるのか、是非そのつながりを実感してください!



京都市
CITY OF KYOTO



PLATEAU
by AIST

KYOTO PLATEAU HACK 2023

[ハッカソンテーマ]
PLATEAU×“京都”×??

11/18-19
開催 [Sat] [Sun]

京都知恵産業創造の森
オープン・イノベーション・カフェ
KOIN (Kyoto Open Innovation Network)

会場
京都市下京区西區通町東入薬師町78番地
京都経営センター3階

タイムスケジュール	
11/18 [Sat]	10:00~ オープニング 12:30~ チームアイデアソン・ランチ 13:30~ ハッカソン 18:30~ 中間共有 ~19:00 解散
11/19 [Sun]	10:00~ オープニング ~16:00 ハッカソン 16:00~ 成果発表会 ~19:30 閉会

KYOTO PLATEAU HACK 2023



イベント詳細・参加申込はこちら

本ハッカソンでは、2023年に公開されたオープンデータである京都市の3D都市モデルを使い、その可能性を引き出します。ハッカソンとは、アイデアをもとに即席でチームを作り、テクノロジーを使って新たなモノやサービスを集中的に創り出す開発イベントです。歴史や文化を持つ京都のオープンデータからアイデアを発想し、世界を豊かにするサービスやアプリ、クリエイティブを形にしませんか?

ゲーム、AR/VR、アート、ビジュアライズ、シミュレーションなどテーマは自由です。ぜひ、あなたの手で新たな京都をハックして創りあげてください。

<https://connpass.com/event/296220/>

定員 30名 参加費 無料

主催:京都市
協力:国土交通省、
一般社団法人京都知恵産業創造の森
運営:海川アスキー総合研究所 (ASCII STARTUP)

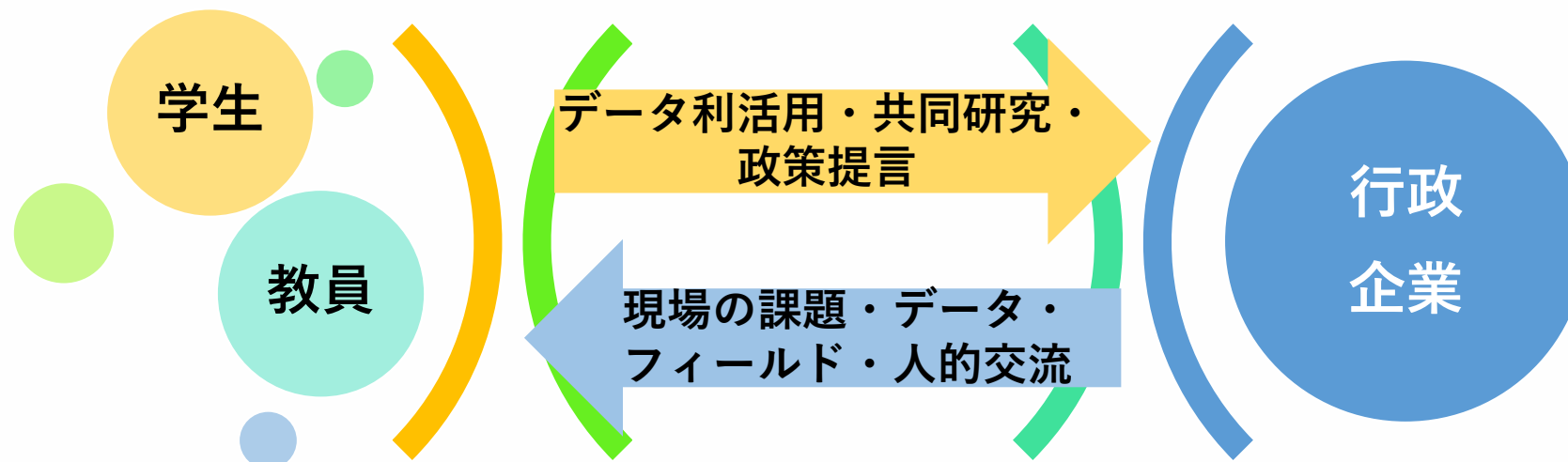
3D都市モデル PLATEAUとは

PLATEAUは、国土交通省が進める3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化プロジェクトです。都市活動のプラットフォームデータとして3D都市モデルを公開し、様々な領域でユースケースを開発しています。誰もが自由に都市のデータを引き出せるようにすることで、オープン・イノベーションを創出していきます。

©2023 11月19日 都市計画局第4課 企画・総務課 京都府知事 京都府庁 第05ASAL#

データサイエンスのブレークスルーを推進 産官学連携によるシナジー創出

- ◆ 産業界、メディア、政策担当者など様々なステークホルダーと連携し先端的な研究の進化と体系化を推し進めると同時にデータサイエンス・AIを駆使してイノベーションを創出できる人材を育成
- ◆ 行政・企業の提示する課題に対し、各種データ等の提供を受けつつ、大学の持つデータサイエンスの知見を駆使して分析を行い、環境・経済・文化・地域など、様々な分野の課題解決のための政策提言を学生が行う。これに対しフィードバックをいただき、学びを深めると共に、政策提言の精度を高めていく。
- ◆ 新たな分析手法の共同研究や講師派遣等人材育成など



相互協力による新たな価値の創出・社会課題の解決



課程設置の目的

- ・高齢化社会に伴う労働人口減少・日本社会の縮減を突破する

<社会的背景>

- ・女性が自らの能力を活用して豊かな人生を送ることを支援する

<女性のエンパワーメント>



長年の女性教育の実績に立脚し、
2018年度開設



2024年度のリカレント教育課程

キャンパス通学コースと女性リーダー管理職コースに加え、文科省委託事業のマネジメント入門コースをあわせた3コースプラス、京都府連携リカレント（前期・後期）を実施。

ブラッシュアップコース：長いブランクのある方や起業を目指す方
（平日対面 週2回＋オンラインの講座）

女性のための実践・リーダー育成コース：管理職・リーダーを目指す方
（2週間に1回 土曜日対面中心＋オンデマンドの講座）

ウィミンズカレッジ（KNFSM）：マネジメント入門コース
マネジメントの基礎を学びたい方 （オンライン中心講座）

（文部科学省委託事業：女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業）

京都府連携リカレント データサイエンティスト育成コース（対面）

本日の内容

1. 京都女子大学について
2. データサイエンス教育に関する近年の動向
3. 京都女子大学データサイエンス学部
4. 自治体・企業との連携
5. **最後に**

- 女子大学の特性を生かしたジェンダーや**価値観**、**ライフスタイル**などに**新たな方向性**
- 女性だけということで、**のびのびとした雰囲気**の中で、ジェンダーに関する教育を手厚く行うとともに**女性リーダーの育成**に重点を置く
- 社会の本音を読むために必要な社会科学、統計学、情報学を**体系的に丁寧**に学ぶ
- **企業・自治体等のステークホルダーと連携**したデータサイエンスの実践的な教育
- Society 5.0が目指す人間中心の社会を構築し、誰もが充実した**幸福な生活**を送る世界の実現

ご清聴ありがとうございました